

教育研究業績書

2020年10月27日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：藤田 安沙貴

研究分野	研究内容のキーワード
成人看護	
学位	最終学歴
修士（看護学）	大阪大学大学院博士前記課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 看護師免許	2017年4月1日	
2. 精神保健福祉士登録	2017年4月1日	
3. 保健師免許	2017年4月1日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術時の頭低位に対する体位固定方法の検討	単	2017年3月	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻（修士論文）	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術（以下RALP）で効果的に体圧分散できる体位固定方法について示唆を得ることを目的に、3件のda Vinci導入施設で手術室看護師、泌尿器科医が被験者5名に対してRALP時の体位固定を再現し右肩甲骨部、仙骨部にかかる圧力を頭低位後15分間測定した。30秒・15分後の圧力から、施設、固定器具等による比較を行い、圧力分布図により固定器具による圧分布の特徴を評価した。
3 学術論文				
1. 手術看護認定看護師の考える手術看護のやりがいについて	共	2016年08月	日本手術医学会誌37巻3号 216-218	藤田安沙貴、師岡友紀、梅下浩司 手術看護認定看護師を対象に、手術看護のやりがいについて量的な比較検討を通して明らかにすることを目的に手術看護認定看護師100名を対象に無記名自記式質問紙を用いた郵送調査を行った。想定される場面43項目について、自身と対象者が考える新人看護師のやりがいを感じる程度では有意差があった。場面掲示した場合のやりがいについては「チームで協働しているという実感があった時」が最も平均値が高かった。手術看護は新人看護師にとってやりがいを感じるまでに時間がかかるが認定看護師からすれば病棟看護と同じぐらいやりがいのあるものであり、中でも患者との関係における達成感とチーム医療が活かしやすい環境は特に影響することが示唆された。また病棟経験の有無や看護資格取得年数、認定看護師資格取得年数によって、重きを置くやりがいに変化することもわかった。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
1. 成人看護学実習における手術見学で看護学生が感じる困難と支援方法についての検討	共	2017年11月	日本手術医学会誌 38巻4号 331-333	伊藤千佳子、川崎花音、平野有彩季、藤田安沙貴、梅下浩司
2. ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術時の頭低位に対する体位固定方法の検討	共	2017年10月7日	日本手術医学会総会	藤田安沙貴、梅下浩司、南正人
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項